



ルーテル学院高等学校陸上部のメンバー。「みんなで高めあえるような、良いメンバーです」

2024年7月のインターハイ。練習では毎日20キロ走る。

日本を 背負える選手に

ふる き あいり
古木 愛莉さん(大津)



現在ルーテル学院高等学校の3年生。陸上部に所属。全国高校駅伝に3回連続の出場を目指す古木さんをクローズアップした。

「小さい頃は特に走りが好きというわけではありませんでしたが、よく走っていました」そう語る古木さんが大津町に引っ越してきたのは中学2年生の時。小学校では陸上部がなかったため、走ることに専念していたわけはなかったが学校の持久走大会ではよく1位になるなど、その才能の片りんを見せていた。中学校で陸上部に所属し本格的に走り始めた。その後数々の好成績を残し、県内でも名が知られるようになった。高校では県内の精鋭たちが集まるスポーツクラスで陸上部に所属。中学の時とは練習量もレベルも違い、慣れない環境にけがも重なり落ち込んだ。「入学当初は、正直言ったら陸上を辞めたかったです。でも負けず嫌いなので、ここで辞めたら負けた気がすると思って、続けました」持ち前の負けん気の強さと忍耐力が実を結び、1年生の夏の合宿後から記録が出るように。昨年度の全国高校駅伝ではメンバー全員が2年生で、その2年生を引っ張る役割を担った。肉体的にも精神的にも成長し、今は高校生活最後の全国高等学校駅伝競走大会に向け、そしてその予選でもある県大会に向けて猛練習中だ。高校卒業後は、実業団への入団が決まっている。「日本を背負える選手になりたい」そう語った古木さんは夢に向かい、今日も走る。

こゝろの声

パリオリンピックのパブリックビューイングを取材し、応援する皆さんの熱気に感動しました。CM中でも止まない応援のコールでより一層一体感が増し、帰る頃には勝手に皆さんに親近感を抱いていました。皆と一緒に応援するって楽しいですね。

パブリックビューイングでも写真撮影をしましたが、写真の腕が全然上達しません。4月からカメラを使い始めていますが、いまだにピントがうまく合わないことが多いです。写真は奥が深いと思いますが、本当にそう思います。まずはカメラと仲良くなるため、毎日カメラを愛でることにしました。(M・S)



広報が読める
スマホアプリ